二中の木

学校報
第３号
H28/05/07

能代市立
能代第二中学校
TEL52-5138

◇二中生に願う！◇

『良く変わる』ことこそ二中の伝統

二一中定期戦に見た

「校長先生、このウイニングボールに一言書いてください。」と、投手の三熊陸斗さんが、ボールを差し出しました。定期戦が行われた五月一日翌日の登校時、校門前での一コマです。

定期戦の結果は、皆さんが知ってるように４対０で二中が勝利しました。勝てたことに喜び、選手の健闘を讃えて大いに盛り上がった時間を三三名が共有したのでした。

応援団幹部のリードのもと、応援のタイミングを逃すまいと選手以上にグラウンドのプレーに集中していた、応援席の生徒一人一人にも拍手を贈ります。

今回、応援団は朝の応援練習を二階ベランダで行いました。二中生へ応援団から「心を一つにしよう！単に応援の出来栄えがどうなのかということではない。野球の応援という場面を通して、二中生は、一つになることのできる集団なのかが試されているのだ。」太鼓の音に載せてそういうメッセージが送られていたような気がします。

誇れ 二中生！

これは、武田紘生徒会長をリーダーとする二中生徒会が目指す活動目標。

平成二十八年度 生徒会スローガン
五輪推進
（固く結ぼう！わが二中）

「和・輪・環・話・わ」を推進しようという思いを表した、どの一つ一つもが大切な五つの輪です。特に私が感心したのが「わ」です。新鮮な驚きを表した文字です。

「二中 三つの確信」の一つ、伝統。二中の伝統とは、変わらぬことを意味するものではない、とこれまで話してきました。

それは、校訓の魂を何代にも渡って引き継いできたと言う意味の伝統です。しかも、常に新しい自分、磨き輝きをました自分を求めてきた姿が伝統校と呼ばれる結果につながったのです。動かない、変わらないことを潔しとせず、そのことを伝統とは認めない二中魂です。

今回の応援団の活動は、前年度に改善や工夫を加えたもので、良く変わる二中、変わり続ける二中を求めた結果、応援の場面でも新鮮な感動をもたらしてくれました。「わ」の実現でした。グラウンドに立つ選手と応援が一つにまとまることのできた嬉しい瞬間でした。

ボールに書いた一言とは？

ところで、陸斗さんのウイニングボールには、このように書きました。

二・一中定期戦

夏につながる大切な一勝とするために、自分を磨き、そして磨け！

2016. 5. 1

この一言は、全校の皆さんに向けた私からのメッセージでもありました。なりたい自分の姿に向けて努力する、志に燃える二中生全員に宛てた一言です。

◇ めざす生徒像 ◇

（１）『自主』
自らを鍛え、志を打ち立てようとする生徒

（２）『不屈』
課題に気付き、乗り越えようとする生徒

（３）『友愛』
仲間との関わりに幸いを感じ、仲間の役に立ちたいと願う生徒

【終】